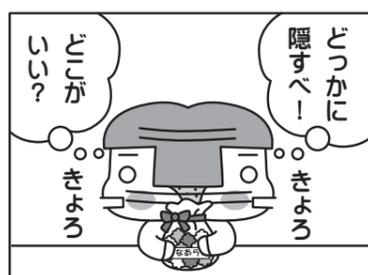


ほんこのころろ

作 本町かずこ
とっかす



いいから今すぐ食べ! んだから兄ちゃんにとっかされんだ! by 未来の私

授産施設新製品(商品)開発コンクール エル白河「とちおとめ苳ブレッド」が金賞を受賞!

2月10日、社会福祉法人優樹福祉会事務局長の徳田芳江さんたちが、県授産事業振興会の平成27年度授産施設新製品開発コンクール食品の部で、金賞を受賞したことを報告に訪れました。

今回、同会が運営する地域生活サポートセンターエル白河で製造している「とちおとめ苳ブレッド」が評価されたものです。



▲左から小林さん、鈴木市長、徳田さん、松本さん



▲苳のシートを何層にも折り込んだ風味豊かなとちおとめ苳ブレッド

輝きの記録



第15回全国小学生雪合戦大会出場

2月13日/加美町小野田西部スポーツ公園(宮城県加美町)

表郷スポーツ少年団
表郷天狗クラブうちの皆さん



第30回ごみに関するポスター展



◆最優秀賞
高橋 権さん
(白三小3年)

ちょっといいなし

交通栄誉章緑十字銀章を受章

2月5日、菜喜代一さん(東形見)が、「交通栄誉章緑十字銀章」の受章報告に訪れました。第56回交通安全国民運動中央大会で、永年にわたり、交通事故防止などの活動に尽力されたことが、評価されたものです。



日本赤十字社金色有功章を受章

2月8日、吉田公彌さん(東釜子)が「日本赤十字社金色有功章」の受章報告に訪れました。今回、日本赤十字社へ多額な社資を寄附したことが、赤十字事業の進展に貢献したと評価されたものです。



Special Interview

■人物 Report

現在、本市出身の2人が国際協力機構(JICA) ボランティアとして活躍しています。今回、昨年9月から2年間、エチオピアに派遣されている星千尋さんが広報白河のインタビューに答えてくれました。

東アフリカに位置するエチオピアはどんな国ですか。

アフリカと聞くと皆さんはどのようなイメージを思い浮かべますか。広大な草原、たくさんの野生動物、原始的な生活を送る様々な民族などでしょうか。エチオピアには、約80もの民族がいて、現在もその文化を守りながら生活しています。また、教会や遺跡などの世界遺産もたくさんあります。

一方、私の生活する首都アディスアベバは、「ここは本当にアフリカ?」と思うほど、大きな道路、たくさんの車(ほとんどが日本の車)、高いビルが立ち並ぶなど、近代的な街並みで、今も発展が進んでいます。そんな、昔と今が同時に存在しているような国です。

具体的にどんな活動をしていますか。

現在、私は、公立小学校で図工・音楽・体育の授業を現地の先生と一緒に子どもたちに教えています。日本では、絵の具やクレヨン、リコーダーやピアノ、ボールやなわとびなど、一人ひとり使える道具がたくさんあるのが当たり前ですが、ここにはほとんど道具がありません。そこで私は、先生たちと協力して、自然のものやここで手に入るもので、道具を工夫して作っています。そうすることで、子どもたちが絵を描いたり、何かを作ったり、みんなと協力して演奏したり、スポーツをしたり、そんな経験がたくさんできるようになればいいなと思っています。

《JICAボランティア春募集受付開始》

JICA二本松訓練所では、毎年多くの海外ボランティア(青年海外協力隊・シニア海外ボランティア)を訓練し、世界中に送り出しています。4月1日(金)から5月9日(月)までボランティアの募集をしています。詳しくは、JICA二本松訓練所のホームページをご覧ください。

☎JICA二本松訓練所 ☎0243-24-3200 / ホームページ <http://www.jica.go.jp/nihonmatsu/>



▲出発前に市役所を訪れた星さん(9月25日)



▲体育の授業で縄跳びを教えている様子



▲牛乳のパックとビンのふたを使用して作ったタンパリン

善意の窓

きつねうち温泉に樹木を寄贈

2月16日、根本和さん(東栃本)から、きつねうち温泉の環境整備のため、チャボヒバ3本が寄贈されました。

チャボヒバは、男子露天風呂に植樹されています。



お知らせ!

白河産農産物イメージアップテレビ放映

白河産農産物の風評被害払拭とイメージアップを目的としたテレビ番組が、福島テレビで放映されます。

白河ブランドや、震災後に神奈川県から東地域に移り住み農業と製油業を営んでいるご夫妻と、その取り組みを支援する野出島地域活性化プロジェクトの方々との交流の様子が紹介されます。

●日時 3月12日(土)/午後2時~2時30分



▲撮影の様子

■イベント Report

伝統の白河だるま市 大勢の人でにぎわう!

2月11日、春の訪れを告げる「白河だるま市」が市内の天神町・中町・本町で行われ、昨年を上回る約17万人が訪れました。通りには、白河だるまなど縁起物を販売する約700軒の露店が並び、多くの人が福を買い求めていました。

当日、マイタウン白河脇駐車場では、白河ラーメン部会が、しょう油ラーメンと白湯ラーメンを販売し、買い求める来場者が長蛇の列を作りました。また、同会場では、本市をPRするCM「だるまメイク流行中」にちなんで作成した、だるまメイクのシールが配られました。



①縁起物の白河だるまを買い求める来場者
②多くの人でにぎわう会場
③だるまメイクのシールを貼ってラーメンを食べる子ども